

経営体の概要

- ・所在地：三重県津市
- ・経営体名：株式会社浅井農園
- ・栽培作物・作付面積：施設トマト生産1.2ha、
トマト生産委託11.4ha、果樹苗生産0.4ha、
キウイフルーツ生産7.3ha
- ・従業員数：約100名（令和6年3月末）

導入技術

- ・Smartfit for work（倉敷紡績株式会社製）
専用衣服に設置する心電センサーにより一人一人の生体情報（心拍数、衣服内温度、加速度）等を計測し、AIを活用したデータ解析により、作業負荷状況や体調変化などリスク情報を管理者や本人に、リアルタイムで通知できるシステム。



図.着用したスマートウェア
(左：男性用 右：女性用)

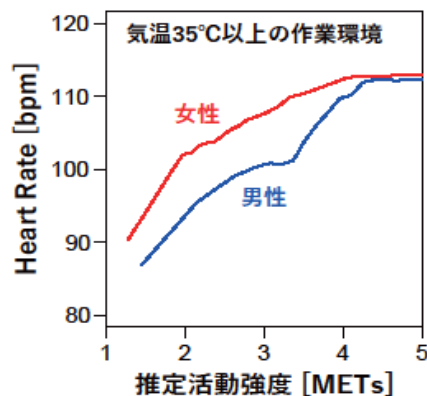


図.高温環境下における
心拍応答の性別差

導入経緯

- 大規模な施設園芸では従業員数が多く、周年栽培の作付け体系においては、特に夏場の労働安全衛生管理体制の構築が課題であった。
- そこで、現場作業の従業員に手間をかけることなく作業負荷状況や体調変化などのデータを収集・解析することで、従業員の熱中症発生数を低減することを目的に、令和2年度にSmartfit for workを導入した。

取組の特徴・効果

- 本技術の使用により、労働中における体調変化が検出でき、体調不良になる前に休憩を促すことができる。
- 施設内でリスクが高まる環境条件や、性別によるリスク傾向の違いなどを把握することができ、作業時間や労働配分の変更など、工程管理を変更する根拠として利用できる。
- これにより、作業負荷が強い作業や、高温下等の作業負荷が高まる環境下での作業に対し、これまで個人毎に行っていた作業をチーム体制で行うことで、リスク低減が図られた。
- また、収集したデータに基づき、休憩場所に扇風機を設置するなど、衛生管理対策の効果を検証した。
- これらの取組により、従業員の熱中症は令和2年度以降ほとんど発生していない。
- 今後も継続して従業員が働きやすい職場づくりを行う。